

MAENAN SAH Journal Vol.28

～『自分で考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～ Jan. 18th, 2024

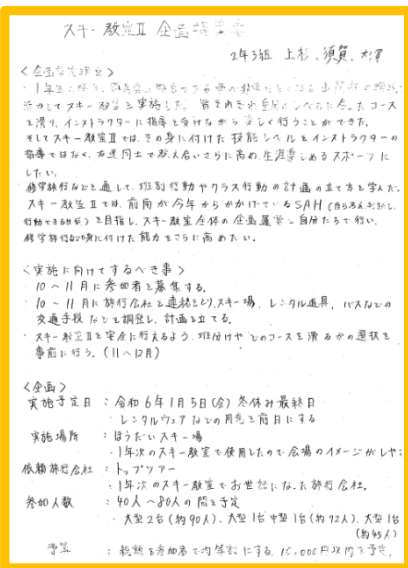
2学年有志による『SAHスキー教室Ⅱ』開催！

前南では、**1年生全員を対象**に、1月中旬にスキー教室を【群馬みなかみほうだいぎスキー場】にて実施をしています。県内でも、スキー教室を実施している学校は非常に少なく、生徒も楽しみにしている行事の1つです。生徒の中には、スキーの経験がある者・スキーを今回初めての行う者など、生徒個々のレベルに差があります。そのため、**初心者グループや経験者のグループに班分けし、インストラクターの指導のもとで自分のレベルにあったコースを滑ります**。私自身も、10数年ぶりにスキーを滑ることになりました。最初は少し緊張と不安もありましたが、何とか無事にケガもせず、滑れたことを思い出します。

今回の『SAHスキー教室Ⅱ』は、「1年次に身に付けた技能レベルをインストラクターの指導ではなく、友達同士で教え合いながらレベルをさらに高める。生涯楽しめるスポーツにしたい」ということを理由に、SAHの一環として行事の企画運営を、**昨年のスキー教室に参加した『2学年有志の生徒4名』によって行われました**。その準備段階として、企画の立案・旅行社との交渉・生徒への募集依頼、校長先生等への企画説明会など、多岐にわたります！以下に、その取組をご紹介します！（2学年主任 岡田 明久）

1. 企画説明会①

↓最初の企画提案書



10月中旬に、有志4名の生徒が**企画提案書（左図）**を持参し、校長先生・教頭先生に対して『SAHスキー教室Ⅱ』の企画書の**プレゼン①**を行いました。企画提案書に沿って、<企画設定理由>・<実施に向けてすべきこと>・<企画>について、有志生徒からそれぞれ説明がありました。

その説明を受け、校長先生からは「**具体性に欠ける**」という、指摘がありました。例えば、①「**予算は1万円以内を予定**」ということについては、**貸し切りバス（大型・中型バス）やレンタルウェア・レンタルスキー・リフト券の費用はいくらかかるのか？**また、参加者で均等割にした際に、「**何名以上の生徒が参加しなければならないのか**」という確認（シュミレーション）が出来ているのか。②**開催にあたり、「引率される先生方への依頼」・「キャンセル料」・「保険代金」**などといった点について、確認をする必要があるとのことでした。

また、教頭先生からは、③「**企画提案書**」が「**手書き**」では見にくい、「**社会で通用するレベルの企画書**」を目指して欲しい、との指摘もありました。以上の3点について、次回の企画説明会までに**確認・準備**をすることとなりました。

2. 旅行社との打ち合わせ・準備

↓旅行社との打ち合わせの様子



企画書のプレゼン①のあとに、**指摘された点の修正や確認を行うべく**、旅行社の担当の方を前南にお招きし、有志生徒との打ち合わせを行いました。事前に、旅行社の方とのメールのやりとりで「**予算1万円以内でお願いします**」と伝えてあったために、旅行社からの提案も、**要望通りのものとなりました**。バスの見積もりについては、**生徒の参加人数を考慮し、複数のパターン**のものを提示していただきました。参加人数を40～82名と想定し

[1] 82名が参加した場合には大型バス2台 → 1人あたり 3,745円

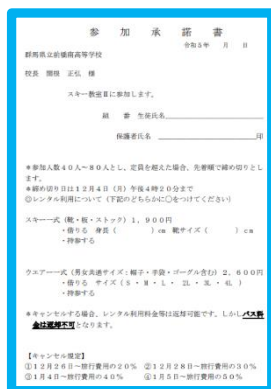
[2] 66名が参加した場合には大型バス1台・中型バス1台 → 1人あたり 4,322円

[3] 40名が参加した場合には大型バス1台 → 1人あたり 3,839円 ※参考価格

↓募集チラシ



↓参加承諾書



また、【希望者のみ】レンタルウェア（手袋・帽子・ゴーグル付き）・レンタルスキー【全員】リフト券・保険代金を追加しても、**おおむね費用が「1万円」であることを確認することができました**。そして、「**引率される先生方への依頼**」についても、学年主任の私の所まで有志生徒がお願いをしに来てくれまして、2学年の他の先生方にも了解をしていただきました。

最後に、生徒への募集をかける際のチラシ、参加承諾書も事前に作成・準備をし、再び**企画書のプレゼン②**を開催することになりました。

3. 企画説明会②

↓新企画提案書（一部）

SAHスキー教室Ⅱ 企画提案書 企画者：伊佐陽成(2006)、上杉悠季(2008)
大澤洋介(2012)、須賀遥斗(2019)

【企画設定理由】
・修学旅行を通して、班仲行動やクラス行動で計画を立てることを学んだ。スキー教室Ⅱでは、スキー教室全体の企画運営を自分たちで行い、修学旅行で身に付けた能力をさらに高めたい。
・学年次に、群馬県の特徴である雪が非常に多く降る山間部の環境を生かし、スキー教室を実施した。皆それぞれ自分のレベルに合ったコースを滑り、インストラクターに指導を受けながら楽しく受けることができた。
・スキー教室Ⅱでは、その身に付けた技能レベルをインストラクターの指導ではなく、友達同士で教え合いさらに高め、生涯楽しめるスポーツにしたい。

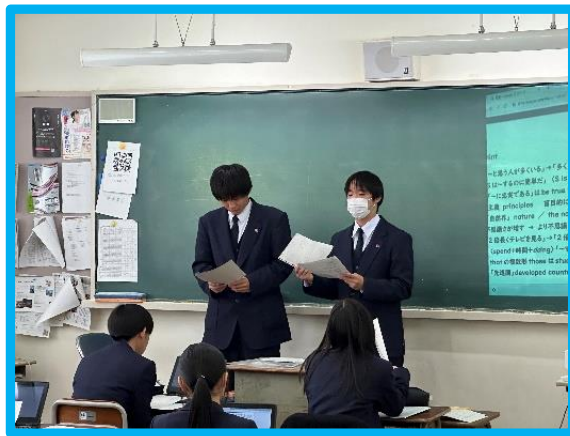
【実施に向けてのべき事】
・参加者を募集する。
・旅行会社と連携して、スキー場、レンタル道具、移動方法（借り上げバス）などの調整をする。
・スキー教室Ⅱを安全に行えるよう、班分け、滑るコース選択などを事前に行う。
・協力していただける先生を見つけサポートを依頼する。一昨年度スキー教室を運営した清水先生に依頼済み。

【企画】
実施予定日：令和6年1月5日(金)
実施場所：群馬みなみほろひづきスキー場 群馬県利根郡みなみ町藤原2639-1 〒379-1721 0278-75-2557
依頼旅行会社：トップツアー高崎支店 群馬県高崎市宮元町212 高崎宮元町ビル9F 027-325-3201
参加人数：40人～82人の間 大型2台(約80人)、大型1台中型1台(約60人)、大型1台(約40人)

【予算】
バス代(総) ●
大型貸切バス費用 2 単価 145,200 金額 290,400
往復大型貸切バス：学校⇨群馬みなみほろひづきスキー場
特大多車有料道路代 2 単価 8,300 金額 16,700
往復費用：高崎⇨水上
御見積金額合計 ¥307,100 ⇒ 単価(82名/参考) ¥3,745

バス代(総) ●
大型貸切バス費用 1 単価 145,200 金額 145,200

↓各クラスにて、参加者募集の呼びかけ



↓事前オリエンテーション



11月中旬に、**新企画提案書（左図）**を持参して、校長先生・教頭先生に対して**企画説明会②**を行いました。前回の企画説明会①で指摘された点を修正および確認をし、**新しく（見やすい）企画提案書（左図）**を作成および説明を行った結果、**校長先生から『SAHスキー教室Ⅱ』の実施の許可をいただきました。**そして、2学年の各教室に有志生徒が参加者募集の呼びかけを行い、**総勢56名の生徒**が参加することになりました。2学期最終日には、参加者を集めての**事前オリエンテーション**が開催され、校長先生からご挨拶をいただいた後に、当日の日程や服装等の確認、班分けなどを行いました。

4. 当日の様子と感想

↓朝の様子（レンタルウェア貸出）



↓有志生徒・スキー場の様子



1月5日の朝、晴天にも恵まれ絶好のスキー日和となりました。生徒がバスに乗車する際には、有志生徒が出欠確認とレンタルウェアの貸出を、同時に行いました。途中のサービスエリアでスキーウェアに着替え、スキー場に無事到着しました。雪が少なかったためリフトが一部運休であったものの、**昨年のスキー教室で使用していたリフトは稼働していたため大きな混乱もなく、スキーを楽しんでいました。**最後に、スキー場の担当の方に有志生徒がお礼を申し上げました。

↓到着時の様子（ウェア着用）



↓スキー場の担当の方にお礼



参加生徒へのアンケート結果も、**95%が大変満足したとの回答が得られ、今回の『SAHスキー教室Ⅱ』は成功したといえるでしょう。**企画・運営を行った有志生徒も、「校長先生や旅行社と企画について協議・検討は大変でした。ただ、当日スキーを滑って、楽しかったです（伊佐陽成）」「初めて企画書を作成し、校長先生への説明はとても不安でした。参加者もたくさん集まり友達とスキーが滑れたので良かったです（上杉悠季）」「個の力では限界があり、組織（集団）で動くことの大切さを知りました。みんなに参加を呼びかけ、多くの方

が参加してくれて良かったです（大澤洋介）」「やったことのない取り組みであり、行事の実現ができるか常に不安でした。ただ、旅行社とのメールのやりとり、資料の確認を通じて、少しずつ準備が進み、実現されたことに、大きな自信となりました（須賀遥斗）」以上のことから貴重な経験が出来たと思います。改めて、有志生徒の4名に「お疲れ様でした」とお礼を申し上げたいと思います。（2学年主任 岡田 明久）

★教頭より★

「年間行事計画にない学校行事」を生徒の手で企画し、学校内外の大人と交渉し、他の生徒へ募集をかけ、みごと56人も参加者の合意を得た有志生徒4名に拍手を送りたいと思います！こういった企画は第一声の段階で学校側から「大反対」をされる可能性もあり、またまた、許可が得られても、「誰も集まらない可能性」もあったはずですが、そこを4名が結束し、数回にわたる管理職へのプレゼンをこなし、ねばり強くやり遂げました！実に素晴らしい！私も実際にこの「SAHスキー教室Ⅱ」に参加してみました。4人だけでなく、他の参加者も充実感あふれる顔をしていました！4人の勇気のおかげで2年生のウェルビーイングも向上したに違いないと思います！

教頭 星野 亨

★校長より★

当日は晴天で、絶好のスキー日和となった。バスの中やゲレンデにいて、どこからかユーミンの曲である「サーフ天国 スキー天国」「恋人がサンタクロース」が聞こえてくるような、そんな企画になったと思う。こんなことが「できたらいいのにな」「やりたい」と思ったことは誰にでもあると思う。でも、思いを形にすることはなかなか大変だと感じている人が多いと思う。今回の4人は、協力してそれをやり遂げた。よく頑張りました。今後も「私をスキーに連れてって」と待つのではなく、積極的に「・・・をスキーに連れて行く」ような、ウェルビーイングな取組を期待しています。

校長 関根 正弘